令和２年７月３０日

資料４－1

第1回練馬区食育推進ネットワーク会議

**第７期１年目　部会活動報告(ねりまの食育応援店部会)**

**１　ねりまの食育応援店登録状況**

令和２年３月末日現在　70店舗登録【資料4-2】

令和元年度新規登録８店舗、登録削除４店舗

登録証２次利用登録店舗　８店舗

**２　事業報告**

平成31年４月 　ねりまの食育応援店実施要項　登録証２次利用を付則

令和元年５月　　登録証２次利用についての周知

　　　　７月　　食育サミット開催　ねりまの食育応援店店主による食育講座を実施

登録審査会開催　４店舗新規登録

　　　　10月　　健康フェスティバル（ねりままつり）にてねりまの食育応援店周知

　　　　11月　　農業祭にてねりまの食育応援店周知

　令和２年２月　　登録審査会開催　４店舗新規登録

　　　　　　　　　（店舗閉鎖により辞退を含めて　登録点数70店舗）

**３　部会活動報告**

1. **ホームページ・健康管理アプリ・冊子による食育情報の発信**

食育応援店の周知や区民への食育への関心を高めてもらうため、情報発信の方法について検討した。アナログ世代は冊子が好評。若い世代はSNS等を使用している。今後、現在使用しているホームページ・アプリ・冊子を充実させていく。

**(2)　食育応援店イベントの検討**

同じく、食育応援店の周知や区民への食育を目的に、応援店マルシェ(仮称)の開催について検討をした。イベントで応援店同士、学校、農家、JAを繋げられるといいのではないか。

**(3)　学校への食育活動(出張授業)**

　　 応援店の食育活動について検討をした。学校の立場からの要望もあった。応援店に希望をとり、リストを作成。学校側に情報提供をし、依頼・相談は直接、応援店を行うのはどうか。食育活動について、応援店で共有し、食育について理解を深めていけるとよい。

**(4)** **応援店食材入手情報について**

応援店とJAや農家、応援店同士の情報共有を繋げられるとよいのでは。

**(5)　その他**

・食育の定義、食育応援店の目的の再確認が必要なのではないか。食と健康を絡めて、みんなの食生活を充実させていくことを伝えていくと良い。

**・**応援店には、直接会って話していくと、継続的に食育応援店も発展していくし、学校側にも食育にもつながるのではないか。人と人の繋がりが大切ではないか。

**３　令和２年度の検討事項**

1. **ホームページ・アプリによる食育情報の発信**
2. **コラムを利用した冊子の作成（食育実践ハンドブック　野菜とれとれ！１日５とれとれ！　季節版の作成）**
3. **食育応援店による販売店等の検討**
4. **学校への食育活動**